

三田史学会会員各位	2017年5月17日
	三田史学会会長 柳田 利夫

2017 年度三田史学会大会について

下記のとおり、2017 年度三田史学会大会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

- 期 日** 2017 年 6 月 24 日（土）
- 会 場** 慶應義塾大学三田キャンパス（〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45）
- 行 事** 下記の大会プログラムのとおり
- 参加方法** 午前・午後の部ともに会員・非会員を問わずどなたでも自由に参加できます。懇親会への出席を希望する場合には、6 月 12 日（月）までにお申し込みください。
- 懇親会費** 通常会費は 5,000 円です。当日、懇親会場にてお支払いください。学生会員には三田史学会が 3,000 円を補助しますので、各専攻教員に申し出て、必要な手続きをとってください。会場では 2,000 円を支払ってください。

2017 年度三田史学会大会プログラム

午前の部 研究発表

日本史部会（10:30～）西校舎 512 番教室

- 嵯峨朝における帰化政策の特質
早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程 橋本 剛
- 近代日本の経済発展と企業家精神 一日比谷平左衛門を事例として―
慶應義塾大学文学部 三科 仁伸
- 田沼時代の銭貨発行
日本銀行金融研究所 藤井 典子

東洋史部会（10:00～）西校舎 513 番教室

- 明末以降の福建沿海部における風水の詞訟化
慶應義塾大学准訪問研究員 魏 郁欣
- 清末民初の華北社会と YMCA
静岡大学学術院人文社会科学領域 戸部 健
- 1950 年代イランの石油国有化運動におけるイスラーム組織の役割
―聖戦土ムスリム協会を中心に―
日本国際問題研究所 貫井 万里
- サラディンの侍医がみたアレクサンドリアの自然と暮らし
―イブン・ジュマイウ（1198 年歿）の養生指南書を中心に―
防衛大学校 尾崎 貴久子

西洋史部会（10:30～）西校舎 515 番教室

- 帝政ローマ前期北海交易商人の自己表現―ネハレンニア女神奉納碑文を中心に―
慶應義塾大学文学部 長谷川 敬
- 古代地中海世界における魔術師たち
広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座 前野 弘志
- 13 世紀前半の教皇庁と「レコンキスタ」
同志社大学文学部 阿部 俊大

民族学考古学部会（9:30～）西校舎 516 番教室

- ブルジュ・ベイティン遺跡（パレスチナ自治区）から出土した教会堂の利用年代について
―B1 地区出土土器の分析に基づいて―
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 有吉 亮
- ヘレニズム期におけるロクリ墓の形成
―エルサレム、アレキサンドリア、マレシヤの例の比較から―
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 長尾 琢磨
- 本州最北部における旧石器石材の分布と利用
―尻労安部洞窟出土旧石器の分析を中心に―
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 市田 直一郎
- 土浦市上高津貝塚周辺の後期更新世～完新世の古環境
―平成 26 年度ボーリング調査の成果を中心として―
上高津貝塚ふるさと歴史の広場 学芸員 一木 絵理

午後の部（13：30～16：45）西校舎 517 番教室

シンポジウム「ヨーロッパ宗教改革研究の今日的意義 ―500 周年に寄せて―」

これまでヴェーバーやトレルチをはじめとした様々な研究者が、ヨーロッパ史における宗教改革の役割や意義について多方面の視点から言及してきた。しかしながら、近代化に対して問題提起がなされている現在において、宗教改革研究自体が大きな岐路を迎えている。膨大な研究蓄積がある中で、今日さらに宗教改革研究を継続することには、どのような意義があるのか、あるいは学術的に意味のある研究方法としては、どのようなものが残されているのかについて、改めて議論したい。

講演 1 「ルター肖像画の変遷とルター改革の動向」	日本女子大学名誉教授	森田 安一
講演 2 「ルターを引き継いで ―17・18 世紀プロテスタントたちの連携運動―」	東京大学大学院総合文化研究科	西川 杉子
講演 3 「教会を持続させた宗教改革 ―政治思想史的考察―」	慶應義塾大学法学部	田上 雅徳
コメント	聖学院大学人文学部	和田 光司
司会	慶應義塾大学文学部	野々瀬 浩司

三田史学会総会（17：00～17：30）西校舎 517 番教室

懇親会（17：45～20：00） 南校舎 4 階 ザ・カフェテリア